自治連だより

第39号

町内会の良さを見直しませんか

鳥取市自治連合会
会長　土橋　周美

皆様には日頃から、町内会活動へのご参加ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

近年、自治会・町内会の運営が曲がり角を迎えていると言われています。加入率の低下と高齢化による役員の担い手不足や、集合住宅を中心とした未加入者の増加などが主な原因のようです。

「町内会」はご近所同士が住みやすい環境をつくるため、みんなで相談し、意見をまとめて、実行していく役割を持つ組織です。特に日常起こってしまう〝困ったこと〟に対して大きな力を発揮します。「町内会」という集まりの場があるため、解決に向けて話し合いができることや、早い段階で取り組むことで、問題が大きくなりにくい、というメリットがあります。また、「町内会」という組織があることによるご近所同士の関わりから安心安全な住環境形成、〝顔の見える関係づくり〟ができます。大型災害などのための防災訓練、非常食や非常用物品の備蓄など、協力体制づくりができます。「町内会」では、多様な役割を住民みんなで協力して担い合うことができます。お互いの負担を均して、無理なく役割を果たし合える関係をつくることが大切です。

ご近所同士の繋がりづくりに、「町内会」はとても大切な存在です。たくさんの方々が穏やかにつながり合う、住みやすいまちづくりのため、「町内会」の良さを見つめなおしてみませんか？

地域には多くの課題がございますが、これらに対応していくためには、町内会、自治会が中心となって、地域における助け合い、ささえ合いができる関係の強化を図っていくことが、重要になってまいります。

会員の皆様には、引き続き、変わらぬご指導、ご協力、ご支援をお願い申し上げます。

大正地区　大正地区のまちづくり活動

ほっと大正まちづくり協議会
会長　加柴　茂

大正地区は大規模な新興住宅地の造成により、近年移り住んだ住民が多い地域と高齢者夫婦を中心とした古くからの農村地域とに分かれ、大正地区公民館を挟んで南北で異なる特性を持つ地区となっています。

大正地区の二千四百五十四世帯のうち、町内会加入率は四十三、七％に留まっています。これは新興住宅街での自治会結成が進まないことに加え、既存の自治会でも住民の高齢化による役員のなり手不足から解散が相次いでいるためです。このままでは一年後には地域との繋がりを持たない世帯が六割を超える可能性が懸念されます。

大正地区公民館の北側に広がる地区は、若い共働き夫婦の核家族世帯が多く暮らしています。大正小学校に通う児童二百二十一名のほとんどがこの地区の子どもたちですが、町内会も子ども会も存在しないため、公民館だよりや地区運動会、夏まつり、公民館まつりといった子どもたちを巻き込みたい行事の案内を、自治会を通じて配布することができません。当然のことながら地区総合防災訓練などの地域の防災情報も届きにくい状況です。

この北側の若い共働き家庭と南側の農村高齢者世帯が、真ん中に位置する大正地区公民館で交流することを目的として始めたのが『大正あおぞら市（軽トラ市）』です。農村部の高齢者が朝採れ野菜を軽トラックに積んで公民館の駐車場に出店し、共働き夫婦が子どもたちと買い物に来ることで、地域間の交流、世代間の交流を深めようとするのが狙いです。

大正あおぞら市、大正地区運動会、夏まつり、公民館まつり等々の案内チラシは、町内会の無い地区にも全戸に手配りすることとし、更に、大正小学校、世紀小学校、高草中学校にお願いしてこれらの案内を生徒児童の家庭に配布していただいています。

大正地区では六割に及ぶ自治会に参加しない世帯を巻き込んで、安全で安心な住み良い地域づくりを模索しています。

大正あおぞら市（軽トラ市）

神戸地区

ふれあいセンターで地域活性化

神戸地区区長会
区長会長　大下 武夫

私の住む神戸地区は旧鳥取市最南部で千代川支流、砂見川の源流域から中流・下流に位置し、神坂から岩坪まで十kmに及ぶ中山間地域に七集落が点在している約二百戸からなる地区です。春はたけのこ、夏は桃、秋は梨・柿など農産物が多く自然が豊かなところです。

キムチ作り

しかしながら近年過疎化、高齢化、少子化が進み、人口減少に伴い児童数が少なくなり、令和二年三月に非常に残念ですが神戸小学校が閉校となりました。その跡地は今ネクストモーションというドローン関連会社が管理し、トリノス神戸としてＮＰＯ法人「はなとたね」などの事業体で活用しています。

このような地区の中心付近に『神戸ふれあいセンター』があります。これは活力のある住みよい地域づくりを推進することを目的として市役所と地区民の寄付により建設し、平成十年にオープンした加工施設です。その後、平成十六年から鳥取市との協定により、神戸ふれあいセンター運営委員会が指定管理者となり現在に至っております。（協定内容の見直しは五年ごと）

この施設では様々な食品の加工ができ、利用料が多少掛かりますが、もちやおこわ、味噌、ケチャップ、焼肉のたれ、パン、豆腐、ジュース他を作ることが出来ます。

それと加工体験もあり、パン、豆腐、五目おこわ、かき餅つき、かき餅切り、味噌作りなどを企画しています。また、令和三年度の食品衛生法に伴い当施設では出来なくなっていた加工品の味噌、密封包装食品（ケチャップ・ゆずの甘煮）、漬け物（梅干し・らっきょう）が令和六年度には営業許可証を取得し販売を再開しています。

地域の活性化と多くの皆さんに楽しく利用して頂ける施設となるよう努めていますので、神戸地区以外の方もお待ちしておりますし、地区同士の交流の場にもなると思いますので、どうぞご利用よろしくお願いいたします。

豆腐作り

味噌作り

≪自宅の片付けなど　ごみ処理のご相談は INABA へ≫
●一般廃棄物収集運搬（家庭ごみ・事業所ごみ）
●一般廃棄物収集運搬（し尿くみとり）
●産業廃棄物収集運搬・中間処理　他
INABA
因幡環境整備株式会社
鳥取市用瀬町美成 323-1　☎0858-87-6668

愛進堂
オフィス&店舗の機器・備品・ウォーターサーバー
本社　鳥取市商栄町221-1
米子　米子市米原4-1-31
倉吉　倉吉市広栄町963
TOTTORI SDGs

令和七年度 定期総会

鳥取市自治連合会は、さる五月十五日、とりぎん文化会館小ホールにおいて、各地区より選出された百三十八名の代議員の出席のもと、定期総会及び講演会を開催いたしました。

講演会では、国土交通省中国地方整備局　鳥取河川国道事務所　千代川流域治水室室長　清綱保志氏をお迎えし、「千代川の河川事業について」～流域治水の推進～のテーマで、気候変動による水災害リスクの増大に備える方策について、分かりやすく講演していただきました。

総会では、土橋会長があいさつを述べた後、長年にわたり町内会活動に功績のあった地区会長や町内会長等を務めて退任された三十九名の方々に対し、鳥取市長及び鳥取市自治連合会長からそれぞれ感謝状と記念品が贈呈されました。

続いて、羽場副市長及び星見市議会議長からご祝辞をいただいた後、被表彰者を代表して城北地区の吉野恭介氏から謝辞が述べられました。

市政概要では、谷口市民生活部長及び川口中央人権福祉センター統括主査から「ひとりぼっちをつくらない！地域社会の創造を目指す」の説明を受けました。

次に、議長団に井上国府地区会長と丸山醇風地区会長を選出し、議案の審議に入り、以下の議案が承認されました。

・令和六年度事業報告並びに収支決算報告、監査報告
・令和七年度事業計画（案）及び収支予算（案）
・役員の承認

新　役　員

会　長	土橋　周美
副会長	西原　牧夫
副会長	谷口　真澄
副会長	森田　松雄
副会長	稲田　宗万
副会長	山本　孝久
監　事	石本　昭雄
監　事	小谷　繁喜
監　事	橋尾　泰博

鳥取県自治会連合会の動き

令和六年度

◆中四国ブロック会研修会

（二月六日、高知市）

高知市において各県連合会の代表者等百九十九名が集い開催され、鳥取県自治会連合会から八名が参加した。事例発表として山口県から「自治会活動のデジタル活用」、高知県から「加入率向上対策について」のテーマで、それぞれの活動の幅を広げる取組みについて発表があった。

令和七年度

◆令和六年度監査会

（四月四日、倉吉市）

◆第一回正副会長会

（四月二十四日、倉吉市役所）

◆令和七年度総会及び研修会

（五月二十七日、倉吉市役所）

◎総会

・令和六年度事業報告及び収支決算報告、監査報告
・令和七年度事業計画（案）及び収支予算（案）
・役員選出

会　長　近藤　豊（米子）
副会長　土橋　周美（鳥取）
副会長　明里　利彦（倉吉）
理　事　角田　和久（米子）
理　事　端下　良則（米子）
理　事　足立　信二（米子）
理　事　戸田　隆雄（米子）
理　事　西原　牧夫（鳥取）
理　事　谷口　真澄（鳥取）
理　事　森田　松雄（鳥取）
理　事　稲田　宗万（鳥取）
理　事　山本　孝久（鳥取）
理　事　安長　章（倉吉）
理　事　黒川　泰（倉吉）
理　事　藤井　勝彦（倉吉）
監　事　松本　眞（米子）
監　事　福島　雄三（米子）

以上原案通り承認されました。

◎研修会

テーマ「ぬのこ谷ホットライン会議の取組」

講　師　ぬのこ谷ホットライン会議事務局
　　北谷コミュニティセンター
　　館長　岩垣　和久　氏

白兎生姜®
お求めは、各ネットショップにて
カイズファーム　検索
鳥取県産ブランド生姜を使った生姜専門店
公式WEB　インスタ
「楽天」「とっとり市」にも出店しております
カイズファーム（中央印刷株式会社）〒689-1121 鳥取県鳥取市南栄町34番地
TEL.0857-50-1112　https://www.kais-farm.com/

手をとりあって共につくる住みよいまちをめざして
社会福祉法人
鳥取市社会福祉協議会
〒680-0845 鳥取市富安二丁目 104-2(さざんか会館)
Instagram
公式ホームページ
Instagram はじめました！様々な情報をお届けしています

鳥取市自治連合会事務局／鳥取市高齢者福祉センター内／〒680-0845 鳥取市富安2丁目104-1 ／ TEL(0857)20-0100 FAX(0857)20-0141 ／ http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/tottori-jichiren

用瀬地区

「いきいき社 まちづくり協議会」の活動

いきいき社まちづくり協議会
副会長　山下 和彦

鳥取市用瀬町社地区は鳥取市南部、用瀬町の最南端に位置し、十六の集落が点在し、山あいを流れる千代川とその支流・安蔵川の流域に約九百五十人が暮らす中山間地域です。東には洗足山がそびえ、夫々雄大な景観を伴って貴重な資源となっています。

平成二十二年に発足した『いきいき社まちづくり協議会』は、〝守ってゆこう 残してゆこう 人が温かいむら ふるさと「やしろ」〟をスローガンに、五部会で構成されています。

【調査・広報部会】

まちづくり協議会の活動状況などについて年四回広報誌を発行し、地区の皆さんへ情報発信をしています。

【安全・環境部会】

地域防災の充実、環境美化や地球環境保全事業、見守り活動などに取り組んでいます。

【健康・福祉部会】

地域における高齢者のサロンを積極的に支援すると共に、地域の方々で賑わうむらまつりを毎年開催し、バザーや芸能発表など交流の場となっています。

【文化・スポーツ・少年部会】

健康増進と交流を目的に「運動会」「洗足山登山」「健康ウオーク」などに取り組んでいます。健康ウオークでは、地区内の集落をコース内に取り入れ、地区の代表者から集落の歴史等の説明を受けて参加者が認識を深めることを目的としています。

【いきいき社バス事業部会】

令和四年四月から、共助交通「いきいき社バス」の運行を開始しました。路線バスが運行されていない集落内を走行する定期運行を行い、買い物、通院、通学等に活用していただいています。道路の幅員が狭く、今まで路線バスが運行されていなかった集落の方々から喜ばれています。

また、町内のスーパー閉店に伴い定期コースを延伸し、町外のスーパーにまで運行し、年々利用者が増えています。

利用者からは「買い物にも困っていたが、重い荷物を持ちバス停から家まで歩いて帰ることがとても楽になり、嬉しい」との言葉がありました。また、高齢の一人暮らしの方から「感謝の手紙」が届くなど運行して良かったと実感しています。

バス利用者の買い物等は食料調達だけでなく、バス車内における利用者同士や運転手と会話も弾み、ふれあいの場となり「心の健康」にも繋がり、バスの運行が役立っていることが感じられます。

いきいき社バス

健康ウオーク

編集後記

自治会や町内会への加入は強制ではありませんが、地域コミュニティを活用し、より安全で住みやすい地域社会を築く上で重要な役割を果たしています。身近な環境を良くするため、地域住民がお互いに協力しながら自主的に組織を運営し、市政に市民の声を反映させるとともに、地域住民と行政とのパイプ役も担っています。近所づきあいが煩わしい、会費の負担が重いなど加入をためらう方もいますが、いざという時にこそ頼りになるのは、近隣住民や町内会ではないでしょうか。

（広報委員長　森田　松雄）

家も、街も、未来も。
ヤマタグループ。
小さな幸せを集める。
Yamata